

# 40期・鈴木祐美子さん アテネオリンピック出場



40期 鈴木祐美子さん

# 旭窓

発行 大阪府立旭高等学校同窓会  
 大阪市旭区高殿5-6-41  
 発行人 田中 健司  
 編集人 長谷川道弘  
 題字 堀 有見子

## 女子カヌー競技で日本初決勝進出の快挙!

旭高校40期生鈴木祐美子さんが、カヌー競技(カヤックフォア4人乗り)でアテネオリンピックに出場した。日本女子として初めて決勝に進出するが惜しくも入賞を逃し9位だった。  
 帰国後も多忙な鈴木さんを、勤務先の(財)奈良県体育協会にたずねた。県庁口1丁に現れた鈴木さん。長身の端正な顔立ちと、鍛えられた筋肉質の腕だった。

アテネオリンピックに出場した。私たちの試合は8月23日からだった。会場の水や状況に慣れるため、8月4日から選手村に入りました。選手村内は広く、各国選手団が宿泊する多数の棟の他、プールやトレーニング施設はもちろんだ、美容室や花屋さんまで数々の施設が完備され、その中をバスで移動します。  
 日本選手団の棟は、それぞれの会場に向かうバス乗り場やシャワーエリアが一番近く便利な場所にあります。中でもメイン食堂が眼前にある3階棟の2階の真ん中が私たちカヌー女子チームの部屋です。なんとその棟の1階には柔道男子、2階の左隣が柔道女子、右隣は競泳男子、3階は同じく競泳男子と陸上男子という、大会初日から金メダルラッシュでキラキラ輝く棟の真ん中での生活は、少し肩身の狭い思いでした。  
 ところがなんと!私たちの部屋にはテレビが無かったのです。北島君が金メダルを取ったのを3日後に知ったり、日本の友達からのメールでオリンピック情報を聞いたりにしていました。アテネにいながら日本チームのメダルラッシュの感動を味わうことが出来ませんでした。奇妙な感じで少し寂しいオ

リンピックでもありません。今まで、テレビなどを通じて「華やかで賑やかで想像も出来ないような大きな大会」というイメージを持っていましたが、実際に選手村に入ってみると、そこにはただ普通の生活があって、「なんだ、結構普通じゃん」というのが感想でした。当然といえば当然なのですが。  
 試合会場も、世界選手権やアジア大会より、施設・設備がしっかりしていて、警備が厳重である以外は、「オリンピックク」といっても、いつもより大きな試合という程度です。いつも見る選手達がいっつも試合と同じように調整しているだけです。  
 しかし、試合が始まるとほとんどのレースのチケットが完売するほどに観客席は満員で、その声援は今まで聴いたことがない迫力でした。その時初めて、「これがオリンピックなんだ」と思いました(あつ。開会式の歓声の時もそうでした)。  
 私はフォア(4人乗り)とペア(2人乗り)のエントリーだったのですが、各種目が予選・準決勝・決勝と6日間1日1本というスケジュールでした。今まで日本のレースで多いときは8本漕ぐ日程の時もあり、さほど問題はないと思っていました。しかし、私たちが戦う相手は、1種目に絞り、一つでも上位を狙っていました。やっとならば戦えるようになった私たちがかけもちをするのは厳しかったようです。  
 やはりオリンピックなのでしょが、問題ないはずの1日1本の集中力が保てません。日々疲労感が増し、自分たちの出来るレース展開すら出来ないようになってきました。  
 「上位入賞を!」と思っていた私たちが、やはり4年、それ以上をかけてくる各国選手と戦うという、オリンピックの厳しさをまざまざと感じさせられました。  
 悔しさの残るレースになり、疲れ切った帰国したのですが、周囲の方々が「日本女子カヌー界初の決勝進出」をすごく喜んでくださ



カヌーと出会う旭のバレーボール部顧問の蒲田則子先生(昭61年4月~平9年3月)

り、卒業後連絡の途絶えていた友達からお祝いの連絡を貰い、 대단喜びがわいてきました。  
 アテネ出場が決まり、武庫川女子大学でカヌーを始め、大学3年生のときアトランタオリンピックに行った先輩が二人もいて「すごいな」と漫然とおもっていました。その時から8年そのチケットをようやく手に入れることができました。  
 念願のオリンピックへの出場権を獲得できた気持ちは、私の乏しい表現力で伝えることはできませんでしたが、突然叫びたくなるくらい喜びはとりあえずおさました。ときは、期待でいっぱいでした。  
 2年前のプサンアジア大会では、私たちは2秒という大差で負けました。「敵もオリンピックに向けて強化してないわけもなく、いくらがんばっても、今回(注:アテネ)も難しいかも...」という不安がなかなかぬけきれませんでした。  
 半年以上前からの強化合宿で新しいコーチの指導の下、少しずつ手応えを感じ、自信をつけることができました。何年もの日を意識してきた試合が、一発決勝ということ、相当の緊張を予想しました。出場選考試合(石川県でのアジア大陸予選)当日は「後はやってきたことをやるだけだ!」と思えるようになりました。落ち着いた精神状況で挑むことができて、4秒以上の大差をつけ、1位でゴールしました。  
 鎌田先生に聞く旭時代の鈴木さん クラシックバレーをしていた鈴木さんは、旭入学後バレーボール部に入部し鎌田先生と出会う。身体が柔らかく、筋肉の質がよかつたのか、彼女は練習を積むほどにきれいな筋肉をつけていった。  
 武庫川女子大学進学が決まった時、先生は恵まれた身体を持つ鈴木さんに大学入学後はカヌー競技に転向することを勧める。当時鎌田先生の同級生が同大学でカヌーをしていた。先生はすばらしい素質をもつ鈴木さんが、鎌田先生の友人以上の成績を上げられると思ったのだ。「どうせするならば日本一にならないと。あなたならなれる。世界にいける」と。鈴木さんは見事結果を出した。鎌田先生は「バレーボールで団体競技に関わったのが良い経験だったのじゃない。メンバーから好かれていた彼女は『バレーナ鈴木』と呼ばれていた」と思い出を語る。(矢田)

## 旭窓会総会 (旭高校同窓会)

日時: 平成16年11月21日(日) 午後5時から8時  
 会場: ホテル アウィーナ大阪(公立学校共済組合)

〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12号 TEL:06-6772-1441(代) FAX:06-6772-1095  
 近鉄上本町駅から(徒歩)約3分 地下鉄谷町九丁目駅から(徒歩)約8分  
 (近鉄上本町駅から専用バスが連絡しております)



懇親会費: 男性10,000円  
 女性 8,000円  
 (大学生は5,000円)

同封のハガキにて  
 11月12日までに  
 ご返事下さい。

URL www.wina-osaka.com

鈴木さん・鎌田先生  
 出席予定!





# がんばる同窓生

## 観光ボランティアの浜浦さん



6期 浜浦 義勲さん

旭窓会に1期生を迎えて四半世紀。会友は、仕事に社会活動にとさまざまな分野で活躍している。

6期生の浜浦義勲さんは、大学卒業後、貿易商社に入社。国内外で活躍。定年後移り住んだ奈良県斑鳩町で、観光ボランティアを手始めに地域活動コーディネーターなどのボランティア活動に関わっている。

奈良県に住んで3年の浜浦さんは、斑鳩町観光ボランティアの会を手始めに、現在は安堵町観光ボランティアの会を運営している。きっかけは、県広報で「奈良シルバリーリーダーカレッジ」を知ったこと。カレッジは、単に学ぶ場ではなく、高齢者の地域創造リーダーの養成が目的だった。

1年課程を卒業後、今年4月に近隣自治体在住者でOB会を作る。OB会メンバーで安堵町観光ボランティアの会を立ち上げた。浜浦さんは、数度に亘る海外生活の経験から、奈良県は産業立県より観光立県が良いと思うに至っていた。また現役時代、国内をゆつくり旅する機会も少なかったが、福岡転勤時上司から九州も良いところだぞと言われ各地を旅し、天草のゴールデンブリッジに感動、日本の良さを再発見したことも、観光ボランティアに関心を持つようになった遠因だろつという。

次にどこへ行こうかと考えている観光客に、安堵町に足を向けてもらおうと考えた。

彼が言うように安堵町には、聖徳太子縁の宮跡といわれる飽波神社や成福寺・上宮遺跡や中世の環濠屋敷(中家住宅)・安堵町歴史民族資料館がある。人間国宝第1号陶芸家富本憲吉記念館もあり、歴史的建造物や民俗資料が豊富だ。

9月から会員研修が始まり、町の歴史・恵吉の人となり・仏像や建築の基礎知識を学ぶ。来年3月から本格的な観光案内ボランティアを始める予定だ。自主学習は活動開始後も続く。「陶芸は特に難しいんです。依頼を受ける以上、断れないので」

「安堵町も斑鳩の里」

世界遺産の地・斑鳩町ではなく安堵町で活動しているのには、わけがある。年間70万人の観光客が訪れる斑鳩町に対し、隣の安堵町は7千人に過ぎないからだ。「へん曲りなんですな、私は」と浜浦さんは言う。安堵町も斑鳩の里・聖徳太子の町だ。法隆寺を訪れて、

「斑鳩町で高齢者ハイクを企画」

地元斑鳩町では、斑鳩町地域活動コーディネーターとして年2回、高齢者ハイキングの運営にも携わっている。障がいを持った人の参加もあり、企画は好評という。NPO法人地域創造政策研究センターの会員(観光・文化部門所属)・事務局として、コンサートを開催したり奈良県立大学市民大学講師もこなす。畿央大学非常勤講師や大学同窓会常任幹事や高校同窓会(同翔会)と活動の幅は広い。

浜浦さんは人生を20年区切りで考え、定年後は仕事と一切関係ないことをしていこうと考え実践中。次は、県内観光ボランティアの会の連絡協議会をつくらうと考えている。余技と言っては失礼だが、エッセイや小説も書いているそうだ。

自発的に自主的に自立して活動している浜浦さんが、年10数回は、連れ合いとの旅行を楽しんでいる。



# 会員著書紹介「たのしいグループワーク」

**Mister Kelly's**  
SINCE 1990.9

営業時間 : 18:00 ~ 1:00 (日曜定休)  
ライブ : 19:30 / 21:00 / 22:15  
チャージ : ¥1,500 ~

**JAZZ**

大阪市北区曽根崎新地2-4-1 ホテルサンガーデン堂島1F  
http://www.mmjp.or.jp/live-info/lhouse.html  
コムテックスグループ TEL:06-6342-5821

毎度おおきに  
**田中米穀店**です

お客様専用 ☎0120-1626-88  
(フリーダイヤル) いろいろ パック

田中 健司 (14期)  
大阪市鶴見区鶴見3丁目8-10 牲(06)6911-5646

**みずほパートナーズ  
法律事務所**

岩崎 利晴 (23期)

大阪市北区西天満3丁目6番21号 タカラ第2ビル2階  
TEL.06-6361-1113 FAX.06-6361-1065  
E-mail fwhs9576@mb.infoewb.ne.jp

**産経新聞** 天幸 株式会社 **辻川新聞舗**

本社 事業本部  
大阪市鶴見区鶴見2-3-17  
1 6930-1588 FAX6930-1641

本店 鶴見町販売所  
1 6912-7349 FAX6913-6264

支店 放出版売所  
1 6782-1470 FAX6782-1470

支店 徳庵販売所  
1 6744-3851 FAX6744-3851

旭高校卒業生はドリンク一杯サービス

**旬菜かつ房 華蔵**

奥村 聡 (8期生)

大阪市中央区日本橋1-21-31(黒門市場内)  
TEL 06-6636-1506

同窓会活動にご意見を

「同窓会図書」設立について

卒業生の著書を一堂に集めて、在校生に開示したい。

同窓会「人材バンク」設立について

ホームページ等を通じて、卒業生の人材活用、交流を図りたい。

「ホームステイホスト」募集について

国際交流の一環として、母校では留学生を受け入れています。卒業生で協力したい。等、同窓会として今後進めていく方向性を、皆さんに多くご意見を求めたいと考えます。ご意見は、同封のハガキ、e-mail、FAXにてお寄せください。

決算・予算報告

平成15年度

Table with financial data for Heisei 15, including income and expense sections with sub-totals.

平成16年度

Table with financial data for Heisei 16, including income and expense sections with sub-totals.

旭高校同窓会会計決算

旭高校同窓会会計予算(案)



～23期 大村 一人 他著、遊戯社発行 (府立香里丘高校)

「子どもセンターあさひ」着工の運びとなりました



前回の紙面で訴えさせていたときには、建物の中身も事業も模索の真つ最中でしたが、おかげさまでやっと着工の運びとなりました。青年達を中心に、子どもの最善の利益を求めて、大宮神社前での朝市・バザーなどを積み重ねてきました。学習会などを積み重ねてきました。

をそだててきました。子育て期をともを過ごしてきた仲間とともに、すべての子ども達が人間らしく豊かに育ちあうための「子どもセンター」建設にかかわっています。いま思うことは、社会的な弱者である子どもに視点を当てて地域を考へていくと、その先には、全ての人

建設に引き続き「支援を

栗田 久(16期)

一昨年まで、母校で教鞭をとっていた、23期の大村一人さんが、大阪集団活動教育研究会の仲間と共同で、「たのしいグループワーク」を刊行。朝日新聞社関係の「朝日わくわくネット」に載っていました。その文章をもとに紹介します。

大阪府内の小・中・高校の先生らの手で、児童・生徒らが豊かな人間関係をつくる方法、グループワークの具体的な手法をまとめた本「たのしいグループワーク」(遊戯社、定価税込2,940円)が刊行。グループワークは、学校のホームルームや様々な活動のなかで、楽しみながら人間関係をつくっていく方法で、集団活動が少なくなった最近の子どもたちが、ゲームや遊びの要素を入れたこのワークを通じて友だちをつくり、うまく人の輪を広げていくような感覚を養うことを狙っています。90年度に大阪府内の先生らが集まり、「大阪集団活動(グループワーク)教育研究会」(会長・中田哲香里丘高校長)が結成されました。年に数回集まり勉強してききました。今回の本はその15年間の活動の成果をまとめたもの。

旭高校バレーボール部OB会

会長 有田 昌義(8期)
事務局 居相 重幸(20期)

旭高校野球部OB会

会長 杉本 茂雄(6期)
事務局 寺田 典史(11期)

先進かつ高精度な技術力・カワセのビジネスフォーム

カワセコンピューターサプライ株式会社

代表取締役社長 川瀬 清

本社:〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目2番20号 洪庵日生ビル7階

TEL (06)6222-7474(代) FAX (06)6222-7483

URL: http://www.kc-s.co.jp

有限会社 中村商店

取締役社長 中村 栄造(2期)

〒544-0031 大阪市生野区鶴橋5-21-22

TEL (06) 6712-1556

FAX (06) 6712-0403

旭同窓会の発展を期待!

昭和33年卒

4期生一同

生徒会活動を振り返って

旭高校生徒会会長

三井 哲史 3年生

体育祭が終わりと、文化祭が終わると、僕たち3年生に残されたことは、受験と卒業だけです。

1年前、後期生徒会会計に立候補しました。最初は与えられたことをしているだけで、生徒会活動に慣れ、卒業が近づいてくるにつれ、自分たちが学校を支えていかなければならないという気持ち、徐々に強くなってきました。同時に、このままの学校でいいのか?という疑問と不安が自分の中に生まれてきました。生徒会新聞でアンケートをとったりして生徒みんなの意見を聞いてみました。返ってきた答えを見ると、これまで僕たちが気づかなかつたみんなの考えなどが分ってきました。できるだけ生徒みんなの意見を反映し、旭をもっといい学校にしたいという思いが強まり、前期生徒会長に立候補を決意しました。

いざ生徒会長になると、文化祭の準備など活動を通して、意見の違いなどから先生との衝突もあり大変でした。最終的には分り合えました。いつも他の3人の役員に助けられました。彼らとはかけがえない信頼関係が築けました。

任期も残り僅かとなった今、会長として過ごした日々を振り返ると、自分の無力さを感じるだけで、支えてくれた先生、一緒に生徒会活動をした皆さんには心から感謝しています。これからは元生徒会長としてふさわしい行動を示すことで、後輩に助言をすることができたらと思います。

「関西大会」二年連続優秀賞受賞  
今年創部30周年

吹奏楽部 部長 本郷 風帆 2年生

吹奏楽部は今年で創部30周年を迎えます。現在は38期OBでもある梅田先生の指導の下、3年生4名、2年生11名、1年生14名の計26名です。

近畿大会予選で三連勝!  
大会出場まであと一歩  
女子バレーボール部 顧問 北島 伸三



【OBの先遣方へ】  
現在吹奏楽部OB会では、OB名簿のまとめなおしを行っています。毎年1回会報を送付しています。手元に会報の届いていない方がおられる場合は、ご連絡をお願いします。

大阪府立旭高校吹奏楽部OB会  
〒535-0031  
大阪市旭区高殿5-6-41  
大阪府立旭高校 吹奏楽部宛  
06-6951-3133 (吹奏楽部呼出)  
asahi-brass-ob@yahoo.co.jp



吹奏楽ホームページ  
http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Kouen/4436/  
http://www.geocities.co.jp/Hollywood-Kouen/4436/mobile.btm (携帯用)

今春開催した定期演奏会「第14回ドリムコンサート」では、旭区民センター大ホールに立ち見ができるほど超満員でした。1年間の総決算となるこの演奏会では、例年になく大成功、たくさんの方々が入部しました。

た、お手数ですがOB会まで連絡先(卒業期・氏名・住所・電話番号・メールアドレス等)をお知らせ下さい。二つの全国大会で学んだもの  
放送部 福井 麻衣 3年B組



# クラブ紹介

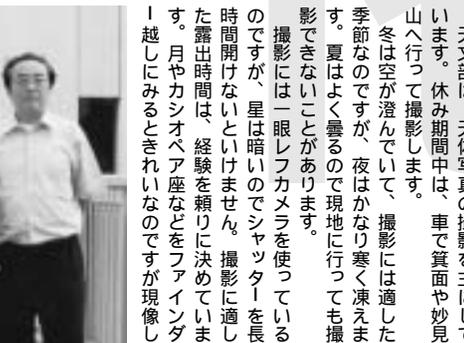
1年生14名の部員と4名の女子マネージャーの総勢33名です。マネージャーの仕事は思っていたより大変。夏休みも毎日と言っていいほどクラブで遊ぶ時間もありません。でも、今年の夏はとも充実していました。特に合宿は初めてのことで、決戦が行われるNHKホールの中で、何時の日か決勝進出校として旭高校の名前が巨大スクリーンに載ることを祈りつつ、私はこの3年間を振り返っていました。



美術部は現在、部員数12名です。放課後2時間程度、活動は、各自のペースで制作に取り組み、各自のペースで活動内容はかなり違いがあります。部活動の成果は年3、4回、本館と北館2階渡り廊下で「つつ張り廊下展」で発表し、文化祭の展示部門でも発表しています。



「つつ張り廊下展」  
美術部 顧問 脇屋 幹夫 (美術科)



美術部OBの皆さんへ  
「美術部OB会」を開きたいと思っています。美術部卒業生の方、下記までご連絡ください。

天体写真の撮影  
天文部  
天文学部は、天体写真の撮影を主にしています。休みの間は、車で箕面や妙見山へ行って撮影しています。

チケット制・IDカード制導入  
ご理解・ご協力を  
~旭高文化祭、今年から  
第44回文化祭、本年は、9月11・12日(土・日)の両日に開催しました。本校は昨年まで府下でも類をみない一般招待者フリーの入場形式を取り入れ、よい伝統としてより多くの皆さんに自由に旭の文化祭を楽しんでもらっていました。近年、招待者マナーが悪くなり、昨年は立入り禁止場所への侵入、教員の注意も無視、盗難、ペンキによる落書き、展示物破損、携帯電話による盗撮など主催者側警備体制を上回る行為が横行しました。教員側も審議を重ね、生徒の安全確保の考えから、本年よりチケット制、IDカード導入ということになりました。これによって、今年の文化祭は多少混乱しましたが、PTAの協力も得て生徒の安全確保の中に、無事終了できました。同窓会の皆様にも、チケット制IDカード導入に今後ともご理解ご協力をいただけるようお願いいたします。



和室特有の雰囲気  
育まれた穏やかな部  
箏曲部 元部長 曾我部陽子

各種展覧会に出展  
書道部 藤山 知子 3年生

編集者から  
各クラブから貴重な投稿をいただきましたが、文体については新聞原稿用に手直しさせていただきました。長文は、掲載スペースの都合上、一部カットさせていただきます。なお、原文は、旭窓会ホームページに全文掲載しております。



1955(S30)年9月、創立間もない旭高校へ赴任。以来14年余、3期生を2年、6・9・13期生は各3年、18期生は1年、学年担任を受け持ちました。経験浅い教師が、元氣はつらつらの若人に教えられ育てられた年月でした。

**忘れられぬ2つの出来事**

1つがいわゆる勤評闘争。1958(S33)年の勤務評定規則制定に対する教職員組合の反対闘争のさなか、何故か当時の旭高校長が他校に先駆けて府教委に勤務評定を提出。たちまち反対闘争拠点として多くの労働団体が押し掛けた。1959(S34)年2月1日、校門に多数の赤旗が林立。異常な状況が現出した。こうして中登校する生徒の心情はいかばかりであったか。赤旗は同年2学期始業式前によく撤去され、平穏な学園生活に戻った。

1969(S44)年9月1日、第2の激震が旭を襲った。大学紛争の波が旭を飲み込む。「旭反連」なるヘルメット姿の20数名が始業式粉碎

**転任後は府教委や校長歴任**

1970(S45)年、旭のその後を心に残しつつ新設の三島高校へ転任。その後府社会教育課・指導一課、柴島・四条畷、両高校の校長を歴任し、1990(H2)年に定年を迎えた。同年4月、私学の浪速工業高校の



山本 茂雄先生  
旭高校在任期間  
1955.9 ~ 1970.3

校長となり、国際科開設・校名改称(現星翔高校)などの学校改革にいささか貢献。1996(H8)年勇退。

**楽シマバ即手能ククシ**

45年の教職生活でした。今はお蔭様で健康にも恵まれ、市の貸し農園で四季の野菜作りや動みながら読書三昧、晴耕雨読の日々を送っています。妻と二人暮らしですが、高校生から2歳までの孫4人が近くにおり、賑やかなことです。

終わりに、中国春秋時代の鄭の名宰相子産の「楽シマバ即手能ククシ」という言葉を皆さんにお贈りして、さらなるご健勝をお祈り申し上げます。

「ゴンさん」のあだ名は、海軍大将・総理大臣だった山本権兵衛に由来。6期生が、気骨のあるところが似ていると、歴史の時間に思いついたという。(矢田)

**覚えていきますか**

あのこの先生

あの先生は今  
今年、「ゴンさん」と親しまれていた国語科の山本先生と白い実習着でさっそうと歩いていた高岡先生の二人に、登場していただきます。

**女性教員1割弱**

旭へは、1955(S55)年新卒5年目に転勤。新設校のため、専門外の理科授業を担当。男子生徒ばかりの中で血液型調査や、ミノ虫の栄養価を調べ、試食し、皮は袋物に、怖いもの知らずの出発でした。女性教員は全教員の1割にも充たず、度々修学旅行にかり出されたもので、初代綾仁校長は色彩教育も博識で蘊蓄も深く、刺激されました。楽器も最初から上質をと、桐材(当時府の基準はベニア板)のものを購入。3期生を中心に箏曲部を創立。府の文化交流会が禁止の中、旭の校長が校長会で責任を持つと宣言し、府・市・私合同演奏会を旭で開催。高校箏曲を全面的に向上させる役割を果たしました。旭から東京芸大箏曲科へ進んだ男子生徒は、今も東京で活躍中。旭は東京と並び全国1、2の実力を持ち、後に第10回全国高等学校総合文化祭(1986年)に府代表で出場したのも、懐かしい思い出です。当時の琴は現在も使われ

**家庭クラブは女性史の歩み**

「学校家庭クラブ」の活動は研究発表・奉仕活動・バザー等々、全国・府で有数の学校活動となりました。府代表で全国大会にも出場。生徒も学習できればと願ったことが、今実現しました。日本女性史そのものの歩みであったように思っています。生徒会本部の仕事も楽しい思い出です。

**海外派遣後指導主事に**

国の教育政策の一つ、教員の海外派遣に校長から受験を勧められ、アメリカ・カナダ方面に20人で視察(1974年)。旭という舞台に恵まれたおかげです。

帰国後、行政部門へ転出の話がありましたが、現場人間でありたい、旭に骨を埋めたいとわがままを申しましたが、暫時兼務ということで大手前高校に転任。旭では教頭先生含



高岡 京子先生  
旭高校在任期間  
1955.4 ~ 1974.3

め7番目の年長だったのが、29番目。若い先生と紹介されました。府教委指導第1課の女性指導主事は、私1人。読売テレビ主催・文部省後援「高校クッキング選手権」の府の審査員を5年間担当しました。

**引退後主婦学習中**

定年退職と同時に、1991年か

電話の声は昔のまま。授業の合間に伺った「料理酒を男子生徒が飲むので酒ビンを送さして印をつけていた」という初期の頃の話を思い出しました。(矢田)

**針谷・中村 総合法律事務所**

所長 弁護士 針谷 紘一(6期)

〒530-0047  
大阪市北区西天満4丁目7番1号 北ビル1号館410号  
TEL 06-6365-6566 FAX 06-6365-6567

**運営賛助金 ご協力をお願い**

旭高校同窓生の皆さん、「運営賛助金」2年目として578件197万円のご協力本当にありがとうございます。ご協力ありがとうございました。

入会金だけで同窓会が運営できた時代は終わり、会員の増加(経費の増加)と在校生の減少(入会金額の減少)が同時進行している現在、運営賛助金制度は、必要不可欠な制度となっております。

「旭窓」発行費が入会金を超える経費となつてのことからご理解ください。

もちろん、ご協力いただいた浄財は、各同期会やOB・OG会等の活動に援助支援を行い、母校支援にも有効かつ効率的に活かされるよう、諸活動に取り組んでまいります。

ご本人はもとより、同期生、友人、知人の皆様にも、ぜひ積極的にお声掛けいただきませう。皆様方のご協力、ご支援を重ねてよりしくお願いいたします。

郵便払い込み口座  
大阪府立旭高等学校同窓会  
00940011991044

観光タクシーで奈良の魅力を満喫!

大阪から 直行 奈良観光

ハイヤー・タクシー・貸切バスのご利用は...地元旭区今市の...

**都島 都島交通株式会社**

ご予約 ☎ 06-6956-8811  
お申込み ☎ 06-6956-8800  
顧問 長谷川道弘(6期)



official 旭窓会 ホームページ

「旭窓会公式ホームページ」  
ご覧いただいていますか?

<http://www.kyokusoukai.net/>

同窓生の、同窓生による、同窓生のためのHPづくりをめざします。  
住所変更・ご提案・ご要望・ご意見 メール下さい。

[jimukyoku@kyokusoukai.net](mailto:jimukyoku@kyokusoukai.net) [HP製作スタッフ募集]

**編集後記**

編集者から  
会報編集にゴーストが出たのが7月末。編集会議が8月7日となりあわただしい日程で、本意ながら些かやつつけ仕事となり反省しています。

編集コンセプトを「知りたい今の旭」。語り継ぎたいこれまでの旭・語り合おうこれからの旭」とし、編集委員会での作業をフル回転で進めました。

トップ記事に悩んでいました。が、飛び込んできたのが鈴木さんの「オリンピック出場と、決勝進出」のニュースでした。大いに救われました。

今号から増頁し、紙面広告を上げました。短期間で限られた協力要請の中、多くの方々から快諾をいただきました。増頁しても経費的には余り変わらず、ウエイトが大きい発送経費の縮減など経費縮減にも取り組まれました。

編集作業に協力をいただいた、常任理事各位と遠藤敬子(5期)・福村修一(6期)・矢田千鶴子(12期)のみなさんに厚く感謝申し上げます。

皆さまからの投稿を歓迎します。掲載情報もお寄せください。足を運んで取材・インタビューもどしどしやります。

「旭窓会報」編集委員会